

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

花めぐり

スイフヨウ

武蔵小山駅からパルム商店街に行く。「丸清」の角を左に曲がって二つ目の角の左手はSasayaハイツです。その建物の外壁に沿った植込みから、夏を代表する花木として親しまれているスイフヨウが枝を絡ませて上方に伸びています。

開花期は例年8月から10月ごろまでで、次々と大輪を咲かせます。色は、朝方の白色から夕方にかけて桃色へと変化して、目を楽しませてくれます。今年は猛暑のためか花期が早まり、秋口にはほぼ咲き終えたようです。

花言葉は「しとやかな恋人」「微妙な美しさ」など。(広報委員 鈴木隆雄)



バッタをつかまえて大喜びの子供たち



青少年対策荏原第一地区委員会主催による初秋の企画「武蔵丘陵森林公園で遊ぼう 梨狩りもあるよ」が9月29日(日)に実施されました。当日は午前7時30分に武蔵小山駅前から85名参加のもとバス2台を連ね、埼玉県滑川町にある国営武蔵丘陵森林公園を目指して出発しました。森林公園は東京ドーム約65個分に当たるといふ広大な面積で、

都会育ちの子供たちが、飛び交う蝶やトンボ、バッタ、コオロギといった昆虫類を必死になつて追い回している姿がとて印象的でした。園内には、広大な広場のほか工夫を凝らしたアスレチックコースや2500㎡もある巨大なジャブジャブ池などもあり、ボール遊びや水遊びなど、子供たちはそれぞれに羽を伸ばして楽しんでいました。園内で昼食を済ませ、2時ごろに東松山市にある加藤農園を訪ねました。農園に入ると、食べごろの梨がたわわに実っていました。ここでは、もぎ方を教えてもらい、梨狩りを体験しました。梨は手で簡単に採



森山公園で自然に親しみ、梨狩りを体験
地区委員会の初秋の企画に85名が参加

町会紹介

小山3丁目町会

今年の夏は、当町会初の試みである「夏休み子供の集い」を7月28日(日)、「パークホームズ武蔵小山」の広場で開催しました。これは、子供たちも地域の一員であり、町会の催事に参加しながら打ち解けてもらおうというのが目的です。

子供たちは一体どんな遊びを好み、どんな食べ物を好んでいるのか? 予算が限られていることから大いに悩みましたが、結局、食べ物としてはかき氷(50円)、焼きそば(50円)、フランクフルト(100円)を用意しました。48人ほどの子供たちが参加し、たちまちのうちに完売となりました。

ゲームとしては、ストライクアウト、輪投げを揃えました。希望する物がなかなか当たらず、何度も挑戦する子供も見受けられました。婦人部や野球部のお母さん方の協力もあって、楽しいひと時を過ごせたようです。来年も実施する予定です。



夏期の恒例事業であるラジオ体操は、今年も7月21日から30日まで(雨天中止)朗惺寺境内をお借りして実施しました。10分間ほどの内容ですが、毎回、幼児からお年寄りまで70~80名が参加しました。このうち皆勤者26名、精勤者(欠席1回)10人で、この方々には特別賞が贈られました。また、子供たちにはじゃんけんにより、いろいろなお土産があるほか、終了後は参加者全員に缶ジュースを配りました。(総務部 榎本喬一)

濱野区長も駆けつけ 秋の交通安全運動

秋の恒例の交通安全運動が9月24日(火)から同30日(月)まで荏原第一管内の各町会、自治会で実施されました。最終日にあたる30日(月)には濱野区長が小山台1丁目東町会内の啓発場所(小山台1丁目交差点付近)を訪れ、たすき掛けの運動員とともに地元住民に向けて交通安全の防止を呼びかけました。



濱野区長も事故防止を呼びかけ

●夜間の外出は目立つ服装で
今年「やさしさ」が走るこの街
この道路」をスローガンに、子供と

高齢者の安全を守ることに重点が置かれました。とくに、事故が多発する夕暮れ時や夜間に外出する時は、目立つ色の服装を着用したり反射材を身に付けて、自分の存在を周囲に知らせることが事故防止につながります。●自転車事故でも民事責任が一方、自転車や自動車の運転者は前照灯を早めに点灯する事で事故を未然に防ぐことができます。とくに自転車の無灯火が目につくことが原因で重大事故を引き起こすケースもあります。自転車も交通事故を起こせば、刑事上の民事責任が問われます。ルールを守り、安全走行を心がけましょう。

◎各ご家庭に配布しております。1部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は、11月20日(水)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。 <http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/>

古紙を配合した紙を使用しています